

令和7年度外務大臣表彰授与式

12月17日、10月2日に引き続き、令和7年度外務大臣表彰授与式が行われました。外務大臣表彰は、多くの方々が国際関係の様々な分野で活躍し、我が国と諸外国との友好親善関係の増進に多大な貢献をしている中で、特に顕著な功績のあった個人および団体について、その功績を称えるとともに、その活動に対する一層の理解と支持を国民各層にお願いすることを目的としています。

同日、可児清隆氏が、長年にわたりチリにおける貝類養殖技術の普及と水産業の発展に尽力し、日チリ両国の協力関係強化に大きく貢献された功績により表彰されました。

可児氏は、日本の水産分野で長年活躍された後、1983年に専門家としてチリに派遣され、ホタテ養殖技術開発プロジェクトに従事されました。その後もチロエ島でカキやウニの養殖技術開発に取り組み、地域漁業者と協力しながら養殖産業の基盤を築いてこられました。2000年からはJICAの「チリ貝類養殖開発計画プロジェクト」に参加し、貝類養殖技術の普及と生産性向上に尽力されました。さらに、チリのチンキウエ財団において養殖技術の高度化と生産体制の確立に貢献し、地域の雇用創出や生活の安定にも寄与されました。こうした活動は、単なる技術移転にとどまらず、地域社会の持続可能な発展に貢献し、日チリ両国の協力関係強化に大きく寄与しています。

これらの活動は、地域社会の持続可能な発展にも寄与し、両国の絆を象徴するものであり、可児氏の長年の努力と情熱に心から敬意を表します。





曾根大使の祝辞



可児氏謝辞



表彰状授与



記念撮影